

「森と水と命の惑星」国際会議

～地域と世界の心と魂を詠む～



塾長 梅内拓生

(政教分離と心の自由) を続けてきている。

前回の梅下村塾(14)に述べたように、トルコなどイスラム教文化の国では、宗教宗派の対立が政治の対立となり、流血の事件となっている。政治や宗教の対立による流血の歴史から、これを取り越えるための知恵として(政教分離と心の自由)を学んで来たのである。政治、経済、宗教、芸術など人間が生きるために行うものには薬と毒の両方を持つているのである。以下、大船渡短歌会の作品と大船渡第一中学校の文化祭の作品から、老人の詩情と若者の詩情に煩惱を越え、心の自由として互いに共有できる人類価値という視点から論じてみたい。

目で、夢物語なのか。梅下村塾はこの課題に
応えるべく、旧気仙の
地域の自然と歴史から
114回にも及ぶ記述

新緑も己がみどりを主張して初夏となりゆく
カツオの便り

ひさびさに半井小絵
さんマスコミに姿見せ
たり気象予報士

新緑、初夏、カツオ、
初夏のみずみずしさを
主張していることが伝
わってきます。気象予
報士も自分の予測を主
張しております。当た
るも八卦、当たらぬも
八卦。

返句
初ガツオ青葉しげって
夏つげる

(心のとも)
岩淵綾子
悪天に子らと集ひて公
園に鎮魂の鐘鳴る午後
二時四十六分

生涯の友ありてこそ生
きらるる仮設に住めど
ひと日にぎはふ

鎮魂の鐘と祈り、仮
設住宅での友との語ら
い、心の語りと交わり
は生きる喜びです。

返句
友はみな心の奥に過去
未来

(春草)
及川智香子
荒涼たる街惘然と眺め
をり雑草気負う三年目
の春

作業船復興の砂利を積
み上げて吃水深く入江
をゆきぬ

杜甫の詩「国破れて
山河あり城春にして草
木深し」をイメージし
て「大津波襲って被災
地春の草」被災地にも
春の草は勢いよく生え
て来ます。

返句
草の原風に春よぶ復興
船

「青春の詩情」
大船渡第一中学校文
化祭 2012年秋
(希望と思い出)
一中祭みんなが輝く体
育館

一中祭みんなで奏でる
希望の詩
中3・女子

青春の詩情は明日へ
の希望にあふれており
ます。思い出も全て明
日への希望につながっ
ております。

返句
思い出を希望につなぐ
一中祭

「演劇部の会話」
A: 歌と劇、これは
みな、生徒たち自身の
作品なのね!
B: 青春のエネルギー
が希望へとつながっ
ているのね!
C: 老熟の詩情の登
場も入れた方が演劇と
しては実り豊かになっ
たかもしれないね!
D: 地域の自然や歴
史とのつながりの視点
をいれることね!

老熟の詩情と青春の
詩情とがどのように自
由に交流できる地域文
化の創出が待たれま
す。この気仙に芽生え
ている地域文化モデル
は政治、経済、宗教の
対立を越えて、人類文
化のモデルとして広く
世界に発信できると思
います。

秋の日舞台の上で輝く
は彼らの努力彼らの思
い
中3・女子

東海新報が、世迷言
の記事を気仙の若者の
教育活動のために本腰
を入れて取り組む事を
期待している。

3・11の大震災の前
に大船渡高校で日本に
帰化した、文化勲章受
章者のドナルド・キー
ン博士の奥の細道の英
訳と数人の欧米の他の
文学者が訳したものと
の比較をして、自然の
捉え方の感受性の違い
を、英語学の視点では
なく、自然と社会の捉
え方の違いとして、生
徒たちと話し合った。
生徒たちは、大いに
興味を示して、活発な
話し合いができた。当
時の校長であった英語
担当の鈴木校長の了解
を得て、この地域文化
教育活動を広めようと
していた矢先に3・11
の大震災で、計画が実
行できなかった。世迷
言の記事を読んで、こ
の思いを新たにしてい
るところである。

東海新報が、世迷言
の記事を気仙の若者の
教育活動のために本腰
を入れて取り組む事を
期待している。

東海新報が、世迷言
の記事を気仙の若者の
教育活動のために本腰
を入れて取り組む事を
期待している。